

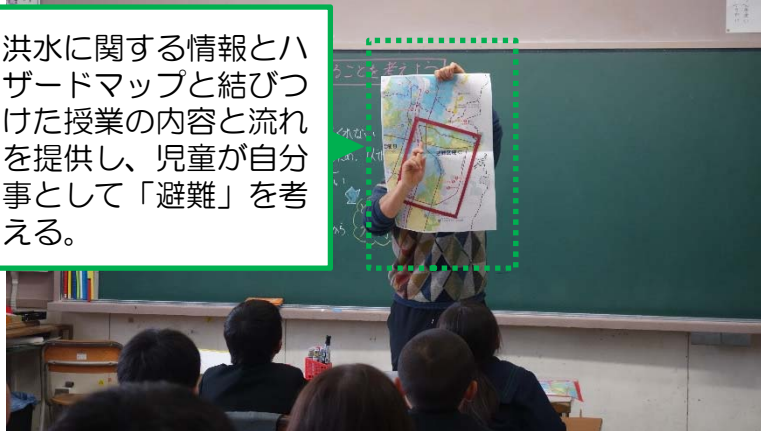


今年度は“丸亀市立飯野小学校”に防災教育モデル校としてご協力頂き、平成30年2月7日・9日・15日に、土器川で洪水が発生したときの対応や事前の備えなどに関する防災授業（4年生対象）を実施しました。

## ○丸亀市立飯野小学校での防災授業のポイント

### ポイント①：ハザードマップの活用

洪水に関する情報とハザードマップと結びつけた授業の内容と流れを提供し、児童が自分事として「避難」を考える。



ハザードマップを活用した防災授業の様子

### ②：浸水深と被害の関係を示したイラストの活用



図 浸水深と被害の関係

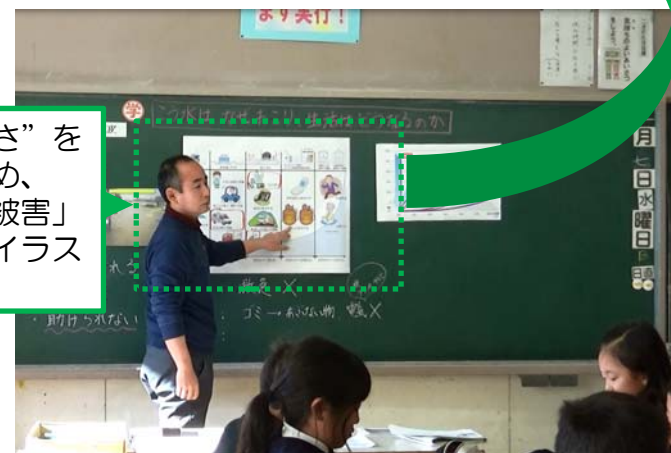
### ③：児童たちによるグループワークの実施



グループワークの様子

自分の身を守るため、自分ができていることを考え、みんなで災害への「備え」について話し合う。四国地方整備局の職員もグループワークに参加。

“浸水の恐ろしさ”を児童に伝えるため、「浸水深」と「被害」の関係を示したイラストを授業で活用。



イラストを活用した授業の様子



## ●土器川の“洪水”をテーマとした防災授業の感想など

### ○丸亀市立飯野小学校の児童の声

- 今まで、土器川で災害は起こらないと思っていたが、授業を受けて、土器川でも災害が起こるかもしれないことがわかって、気をつけなければいけないと思った。
- 洪水が起こると、まちが水浸しになったり、停電になったりして、怖いと思いました。
- ハザードマップの見方に関する授業を受けて、洪水が発生した時は、ハザードマップで色のついていないところ（浸水範囲外）や避難所に避難をしなければいけないと思いました。

### ○丸亀市立飯野小学校の先生の声

- 水深30cmで車が動かなくなるなど、自分で興味を持ったことについては、子どもも同じように感じるだろうと思って、授業の中で説明をしました。知識も増え、防災意識も高まったと思います。
- 専門的な知識がない中、この授業を実施するにあたって、国土交通省の方から、質問に答えていただいたり、教えてもらったりと良かったと思っています。
- 防災教育は教師も勉強になりましたが、一番は子どもたちにとって、自分の命を守るためのものになったと思うので、良かったと思います。



防災授業（全体）の様子

### ○国土交通省からのメッセージ

- 丸亀市立飯野小学校の児童の皆さんには、身近な土器川を題材とした防災授業での学びから、今後、水害から命を守れる大人になってほしいです。

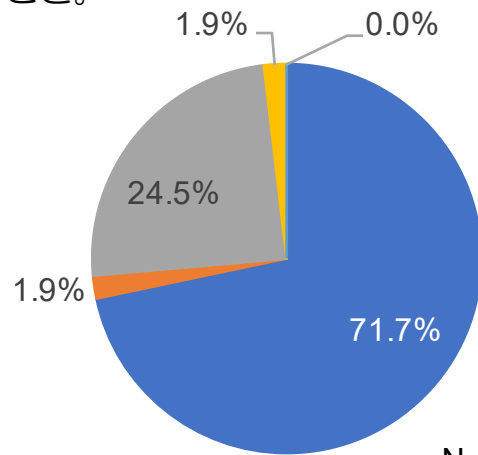


## ●防災授業後の児童に対するアンケート結果（1 / 3）

質問1. 授業で学んだ水害（洪水）について、今の自分にあてはまる項目に1つ○をつけてください。

1) 水害（洪水）の起こり方には、次に示す①、②であることがわかりましたか？

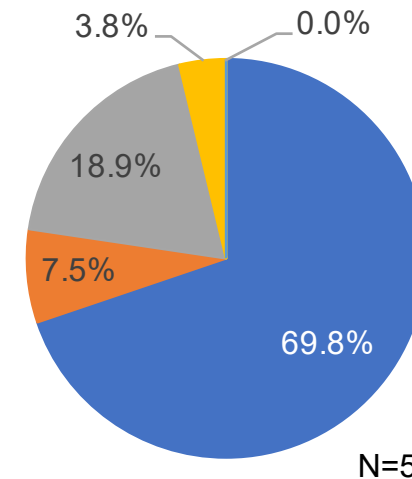
- ①：降った雨を川へ流しきることができず、道路などにゆっくりと水がたまっていくこと。
- ②：雨で川の水が増えたことで、堤防からあふれだしたり、堤防をこわしたりして、川の水がまちへ一気に流れ込み、家などがこわされたり、流されたりすること。



■：①と②両方わかった ■：①だけわかった ■：②だけわかった  
■：①と②どちらともわからなかった ■：無回答

2) 水害のハザードマップは、次に示す①、②があることがわかりましたか？

- ①：降った雨を川へ流しきることができず、道路などに水がたまることを示した内水ハザードマップ。
- ②：雨で川の水が増え、堤防からあふれ出たり、堤防をこわしたりして、川の水が住宅地などに流れることを示した外水ハザードマップ。



■：①と②両方わかった ■：①だけわかった ■：②だけわかった  
■：①と②どちらともわからなかった ■：無回答

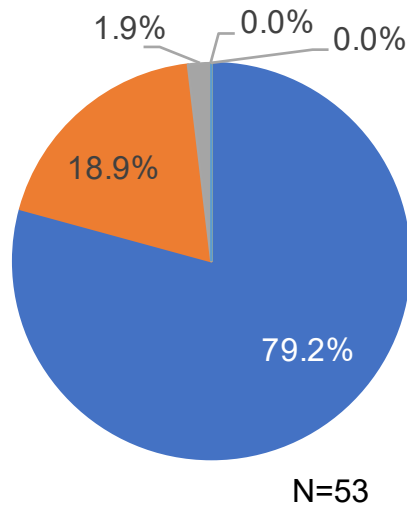
- 水害（洪水）の起こり方について、①と②両方わかったと、約7割の児童が回答している。
- 水害のハザードマップの種類について、①と②両方わかったと、約7割の児童が回答している。



## ●防災授業後の児童に対するアンケート結果（2 / 3）

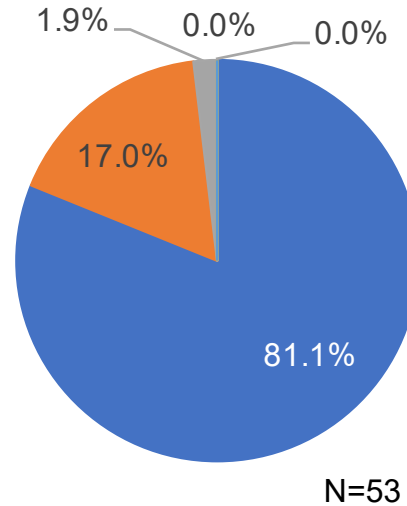
質問2. 水害（洪水）から命を守るための行動について、今の自分の考えにあてまはる項目に1つ〇をつけてください。

1) 土器川で起こる水害（洪水）について、自分にも関係のあることであると考えようになりましたか？



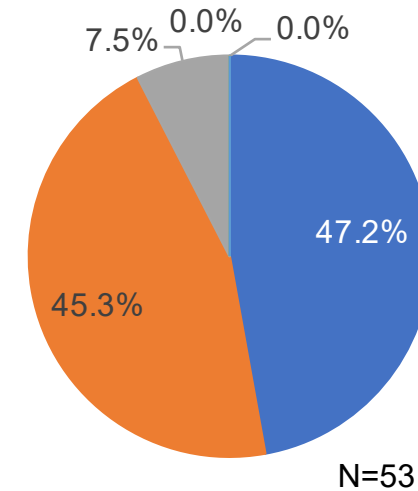
■ : なった   ■ : ややなった  
■ : あまりなっていない  
■ : なっていない   ■ : 無回答

2) 水害（洪水）が発生しそうなとき、なぜ避難をしなければならないか、わかりましたか？



■ : よくわかった   ■ : わかった  
■ : あまりわからなかった  
■ : まったくわからなかった   ■ : 無回答

3) 雨や川の情報を調べ、正しく避難する方法がわかりましたか？



■ : よくわかった   ■ : わかった  
■ : あまりわからなかった  
■ : まったくわからなかった   ■ : 無回答

- 土器川で起こる水害（洪水）について自分にも関係のあると考えように「なった」、水害が発生しそうなときなぜ避難をしなければならないか「よくわかった」と、約8割の児童が回答している。
- 雨や川の情報を調べ、正しく避難をする方法が「よくわかった」もしくは「わかった」と、約9割の児童が回答している。

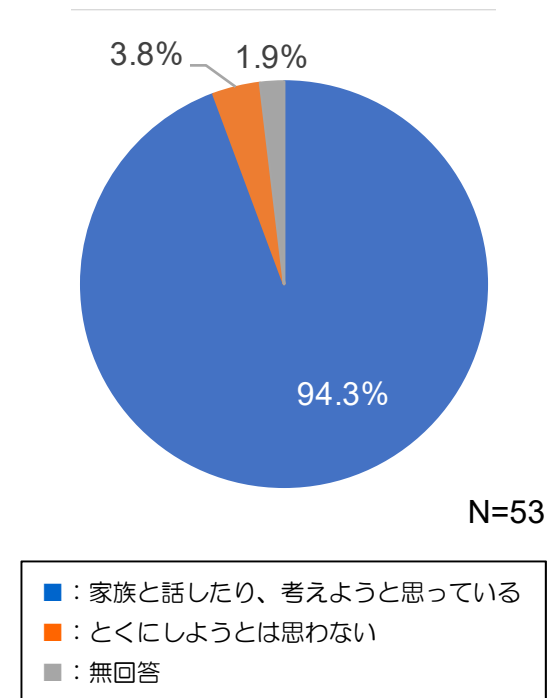
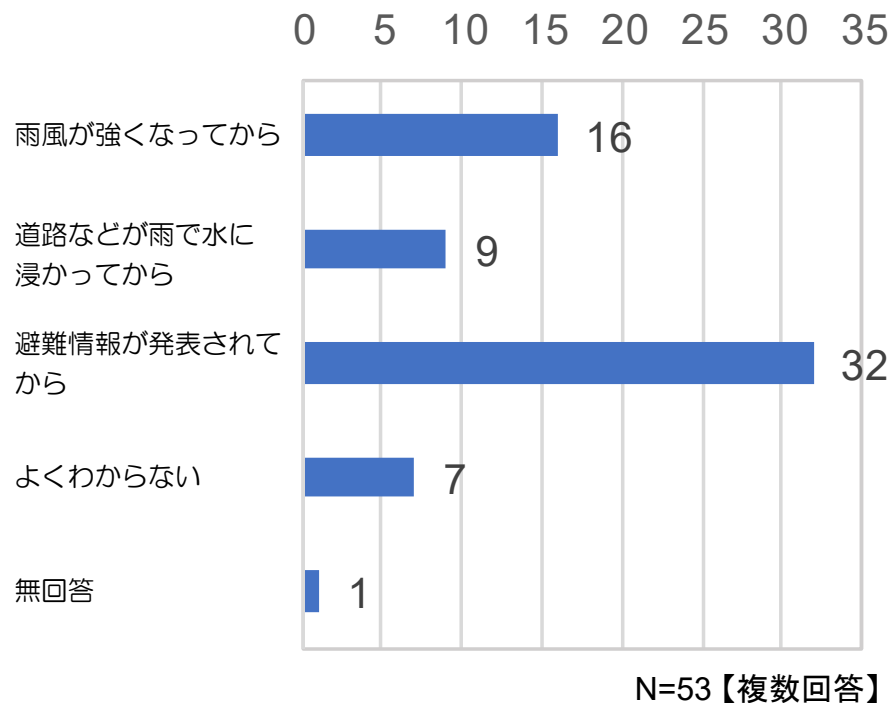


## ●防災授業後の児童に対するアンケート結果（3／3）



質問3. どのようなタイミングで避難を開始しなければならないと思うようになりましたか。あてはまる項目にすべて○をつけてください。

質問4. 授業を受けて、学んだことを家族と話したり、避難の方法などについて、考えようと思っていますか。あてはまる項目に1つ○をつけてください。



- 避難を開始するタイミングは「避難情報が発表されてから」が最も多く、32名の児童が回答している。
- 防災授業を受けて、学んだことを家族と話したり、考えてみようと思っている児童は、94.3%とほぼ全員である。



## ■四国地方整備局 連絡窓口

表 四国地方整備局 連絡窓口

機関名・部署名	郵便番号・住所
四国地方整備局 企画部 防災課 (TEL:087-811-8310)	〒760-8554 香川県高松市サンポート3番33号

## ■支援校の調整状況について

表 支援校の調整状況一覧

協議会名	小学校名	郵便番号・住所
土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会 (香川河川国道事務所 TEL:087-821-1561)	丸亀市立飯野小学校	〒763-0086 香川県丸亀市飯野町西分113番地
吉野川上流・下流大規模氾濫に関する減災対策協議会 (徳島河川国道事務所 TEL:088-654-2211)	美馬市立美馬小学校	〒771-2106 徳島県美馬市美馬町字谷ヨリ西68
	石井町立藍畑小学校	〒779-3212 徳島県名西郡石井町藍畑字東覚円670
那賀川・桑野川大規模氾濫に関する減災対策協議会 (那賀河川事務所 TEL:0884-22-6461)	阿南市立大野小学校	〒774-0047 徳島県阿南市下大野町三条5
物部川大規模氾濫に関する減災対策協議会 (高知河川国道事務所 TEL:088-833-0111)	香美市立舟入小学校	〒782-0016 高知県香美市土佐山田町山田1218番地
仁淀川大規模氾濫に関する減災対策協議会 (高知河川国道事務所 TEL:088-833-0111)	日高村立日下小学校	〒781-2153 高知県高岡郡日高村本郷89
四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会 (中村河川国道事務所 TEL:0880-34-7301)	四万十市立八束小学校	〒787-0160 高知県四万十市間崎1483
肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会 (大洲河川国道事務所 TEL:0893-24-5185)	大洲市立菅田小学校	〒795-0081 愛媛県大洲市菅田町菅田甲703
重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会 (松山河川国道事務所 TEL:089-972-0034)	松山市立浮穴小学校	〒791-1113 愛媛県松山市森松町832
	伊予市立伊予小学校	〒799-3103 愛媛県伊予市上野2270
	東温市立拝志小学校	〒791-0222 愛媛県東温市下林甲1585
	松前町立岡田小学校	〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町大字西高柳156
	砥部町立麻生小学校	〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田760